

## 8月のご意見箱

回収日付/場所	ご意見	回答
8月11日(火) A館2階 展望廊下	<p>新型コロナ対策、毎日ご苦労様です。 でも一言。病院ではコロナウイルスが入らないように面会中止をしていますが、Dr、ナース、スタッフは毎日家に帰り、人と会い、買い物に行っているのではないのでしょうか。しかし、入院患者に対しては外出・外泊を厳しく禁止しています。人によっては家族の顔を見たい人もいるだろうし、家に帰ってしなければならない用事がある人もいないではないですか。 「三密をさける」「新しい生活様式」など、指導をきちんとすれば患者に対しても柔軟に対応できるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今月は新型コロナウイルス感染症の予防・対応に努める病院・職員に対する叱咤激励のおことばを、それぞれ異なった視点の方からいただくことができました。</p> <p>まず、入院患者様やそのご家族様には、面会や外出・外泊などの面で様々な御協力をお願いしておりますので、かなりご不便を感じていらっしゃるのではないかと思います。感染者の発生地域（大分県内、佐伯市内など）や最終発生からの経過日数などにより、段階的に制限を厳しくしたり緩めたりしておりますが、これまでに無かったルールがストレスの原因になっていらっしゃると思います。</p>
8月31日(月) 封書にて	<p>残暑が厳しいですね。 後藤院長、医療従事者の皆様、お疲れ様です。 新型コロナウイルスによる影響が続いており、まだしばらくはこの状態が続いてゆくと思われまます。 その中、皆様が私たち住民のために感染・発症のリスクを背負いながらも頑張ってくださいに感謝しています。私も、今勧められていることを引き続き行っていき、医療に従事しておられる方の負担を不必要に増やさないようにしてゆきたいと思っています。 後藤院長、医療従事者の皆様、体調に気を付けながらお仕事をおこなってください。</p> <p>感謝と共に</p>	<p>次に、職員は一見、以前と変わりなく普通に生活しているように感じられるかもしれませんが、もしも自分自身がコロナウイルスを病院に持ち込んでしまったら、患者様や職場にどれほどの迷惑をかけてしまうのか、想像するだけでもとても恐ろしいことです。実際のところは、かなり慎重に自分や家族に制約を課し、プレッシャーを感じながら日々を過ごしているというのが正直なところでは。</p> <p>様々なメディアを通じて、新型コロナウイルス感染症の予防策や、業種ごとの対応方法などが報じられていますが、なんとか皆様と一緒に、このコロナ禍を乗り越えて行かねばなりませんね。</p>

※掲示しているご意見につきましては、当院のホームページにも掲載しています。ホームページでは、過去にお寄せいただいたご意見もご覧いただくことができます。